

株式会社京都産業振興センター

第1 法人の概要

1 代表者

代表取締役社長 波部美利

2 所在地

京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1

3 電話番号

075-762-2633

4 ホームページアドレス

<http://www.miyakomesse.jp/> (京都市勸業館)

<http://www.kyotokan.jp/> (京都館)

5 設立年月日

平成5年4月27日

6 資本金

90,000千円 (うち本市出資額 54,000千円, 出資率 60.0%)

7 事業目的

京都市勸業館 (美術工芸ギャラリー含む。) の管理運営, 展示会, 見本市等の企画開催及び誘致ほか

8 業務内容

(1) 京都市勸業館 (美術工芸ギャラリー含む。) の管理運営

(2) 京都伝統産業ふれあい館の管理 (公益財団法人京都伝統産業交流センターとの連携による。)

(3) 展示会, 見本市等の企画開催及び誘致

(4) 京都館の管理運営

9 所管部局

産業観光局産業戦略部産業総務課 (TEL075-222-3333)

10 役員名等

(1) 取締役会長

村上圭子 (産業戦略監)

(2) 代表取締役社長

波部美利

(3) 取締役

小山哲史, 奥原恒興, 渡邊隆夫, 林史己, 大同一生, 坂本勝,

馬屋原宏 (産業観光局産業戦略部長)

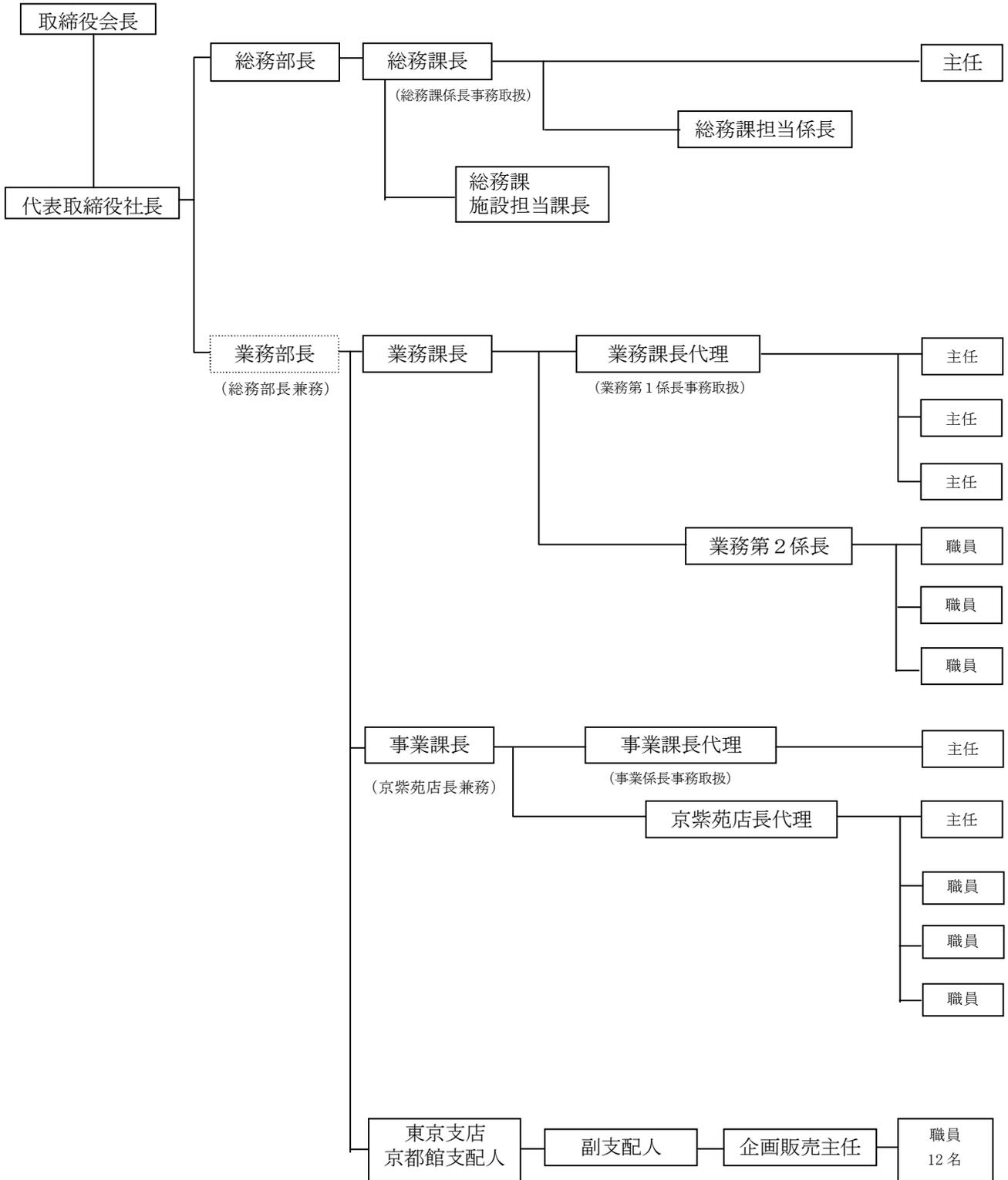
(4) 監査役

外村弘樹, 川越とし子

11 常勤職員数

37人 (うち本市派遣職員0人)

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成27年度決算

(1) 事業報告

ア 京都市勸業館の指定管理

(ア) 展示場の利用状況

面積稼働率 47.10%, 利用件数 487 件

(イ) 会議室の利用状況

稼働率 40.90%

イ 京都市伝統産業ふれあい館ミュージアムショップ「京紫苑」の運営

ミュージアムショップ「京紫苑」商品売上 50,420 千円（消費税等除く。）

（参考）京都市伝統産業ふれあい館の入館者数 163,214 人

ウ 美術工芸ギャラリー（勸業館内）の運営

稼働延べ日数 442 日（442 日／718 日）、稼働率 61.55%

エ 京都館の管理運営（受託事業）

(ア) 来館者数 255,685 人

(イ) 情報コーナー利用者数 102,537 人

(ウ) 物販売上 153,681 千円（消費税等除く。）

(2) 財務諸表

貸借対照表

平成28年3月31日現在

（単位：千円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[637,536]	流動負債	[174,787]
現金及び預金	601,087	買掛金	17,351
売掛金	3,327	未払金	65,595
商品	5,061	未払消費税等	6,727
未収入金	27,533	未払法人税等	1,888
前払金	173	前受金	81,462
前払費用	500	預り金	1,765
貸倒引当金	△ 145	固定負債	[20,175]
固定資産	[21,643]	退職給付引当金	17,175
（有形固定資産）	(21,197)	預り保証金	3,000
建物	12,401	負債合計	194,962
器具・備品	8,563	純資産の部	
その他の有形固定資産	233	株主資本	[464,217]
（無形固定資産）	(442)	資本金	(90,000)
電話加入権	381	利益剰余金	(374,217)
ソフトウェア	62	20周年記念事業積立金	8,000
（投資その他の資産）	(4)	付帯設備改善積立金	40,000
出資金	4	別途積立金	240,000
		繰越利益剰余金	86,217
		純資産合計	464,217
資産合計	659,179	負債及び純資産合計	659,179

損 益 計 算 書
平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
【経常損益の部】		
(営業損益の部)		
売上高		851,518
売上原価		344,996
売上総利益		506,522
販売費及び一般管理費		486,320
営業利益		20,202
(営業外損益の部)		
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,152	
その他	4,768	5,921
営業外費用		
その他	315	315
経常利益		25,807
【特別損益の部】		
特別利益		0
特別損失		0
税引前当期純利益		25,807
法人税、住民税及び事業税	8,181	
法人税等調整額	0	8,181
当期純利益		17,626

株主資本等変動計算書
平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位：千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金				株主資本合計	
			20周年記念 事業積立金	付帯設備 改善積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
前期末残高	90,000	—	3,000	40,000	230,000	83,591	446,591	446,591
当期変動額								
積立金の積立			5,000		10,000	△15,000	0	0
積立金の取崩								
当期純利益						17,626	17,626	17,626
当期変動額合計	—	—	5,000	—	10,000	2,626	17,626	17,626
当期末残高	90,000	—	8,000	40,000	240,000	86,217	464,217	464,217

2 平成 28 年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 勸業館事業

- (ア) 利用率向上のため、様々な手段を利用して宣伝・広告を行う。
 - a 広告の活用
 - b ホームページの充実
 - c キャッチフレーズの活用
 - d イベントガイドの作成と活用
 - e 「京都館」情報コーナーの活用
- (イ) 継続利用・新規、地元・その他（首都圏・大阪圏）の種別に沿った戦略を取り、きめ細やかで、かつ、積極的・創造的な営業活動を実施する。
 - a 地元（京都）へのアプローチ
 - b 首都圏・大阪圏等へのアプローチ
 - c 閑散期対策
- (ウ) 積極的・計画的な修繕・改良を行うとともに、利用者のニーズに応じた備品・設備を整え、利用率の向上を図る。
 - a 施設・設備の整備
 - b IT 環境の整備と IT 機器の貸出し
 - c 付属設備（自動販売機、コピー、FAX、プリンター、コインロッカー、車いす等）の充実
 - d 貸出し備品（いす・長机、大型スクリーン、プロジェクター、音響・映像機器等）の充実

イ 美術工芸ギャラリー事業

- (ア) 連続 5 日間以上利用する場合、前後各 1 日を無料提供する「ワンウィークサービス」制度を実施し、その利用者を更に拡大する。
- (イ) 無料貸出し備品の充実や主催者への平面駐車場（荷捌場）の無料提供を実施するとともに、ポスターやパンフレット、ポストカード等の印刷発注の代行など、利用者のニーズに対応する。

ウ レストラン事業

- (ア) 売上の確保に向けた取組
- (イ) 運営サービスの向上
- (ウ) 魅力的なメニューの提供

エ 京都伝統産業ふれあい館内ミュージアムショップ「京紫苑」事業

- (ア) 特別販売の実施
- (イ) カタログ販売の実施
- (ウ) ダイレクトメールの活用
- (エ) 免税店の実施

オ 自主企画事業

- (ア) みやこめっせウェルカムプラン（京都伝統産業おもしろ体験講座）事業
- (イ) 京ものフェスティバル
- (ウ) 電車王国 in みやこめっせ
- (エ) かがやきめっせ、桜まつり（岡崎魅力づくり推進協議会連携事業）
- (オ) トワイライト・ステージ（二条通にぎわい創出事業）
- (カ) みやこめっせ防災フェア など

カ 京都館事業

平成 28 年度も、京都市から京都館事業を受託し、京都市との連携の下、首都圏での京都情報の発信及び京都館の認知度の向上に積極的に取り組む。

また、自主事業として物販事業を行い、伝統工芸品を中心とした京都製品の普及啓発に努める。

(ア) 主な受託事業

- a 情報発信事業 情報コーナーの充実
- b 京都館ニュース 毎月発行 発行部数 10,000部
- c 京都館ホームページによる情報発信の強化
- d イベント, セミナーの実施
- e 観光キャンペーンの実施

(イ) 物販事業

平成28年度は14,600万円を目標に物販, 各種参加料, 広告収入の増加に取り組む。
そのため, 自主企画によるフェアや, 京都館みやこ会の会員拡大, 法人特注などに積極的に取り組む。

キ みよこめっせ開館20周年記念事業

本年7月1日に開館20周年を迎えるにあたり, 関係者による記念式典, 祝賀会及び一般市民も対象とした記念講演会を実施する。

ク 社員研修

社員の意欲, 能力の向上を目指して社員研修を計画的に進める。

- (ア) 全体研修
- (イ) 管理監督者研修
- (ウ) 業務研修
- (エ) 自己研修
- (オ) 業績評価シートによる評価制度の導入

ケ 第三者機関による経営評価の実施

外部の第三者専門家の意見を経営に反映するため経営評価委員会を設置しており, 平成28年度も同委員会を2回開催する予定である。

(2) 予算

予定損益計算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位: 千円)

科 目	金 額	額
【経常損益の部】		
(営業損益の部)		
売上高		885,600
売上原価		349,800
売上総利益		535,800
販売費及び一般管理費		510,910
営業利益		24,890
(営業外損益の部)		
営業外収益		
受取利息	980	
その他	5,630	6,610
営業外費用		
その他	300	300
経常利益		31,200
【特別損益の部】		
特別利益		0
特別損失		10,000
税引前当期純利益		21,200
法人税, 住民税及び事業税	-	-
法人税等調整額	-	-
当期純利益		-

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H25 (決算)	H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (予算)
損益計算書	売上高	818,986	840,483	851,518	885,600
	経常利益	32,659	38,468	25,807	31,200
	当期利益	21,460	25,464	17,626	
	減価償却前利益	28,230	30,715	22,749	
貸借対照表	総資産	590,356	670,118	659,179	
	総負債	169,229	223,528	194,962	
	純資産	421,127	446,591	464,217	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H25 (決算)	H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (予算)
委託料	「京都館」管理運営	51,431	52,900	54,630	

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> 売上面では駐車場収入の増加などにより前年度実績を上回ったが、利益面では前年度実績を下回った。引き続き単年度黒字を維持しており、財務状況は良好である。
事業面	<ul style="list-style-type: none"> 下半期に大型催事を招致できなかったことにより、面積稼働率が50%に届かず、前年度を下回ったものの、引き続き47.1%の稼働率を確保し、産業振興に大きな役割を果たした。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> 安定して黒字を計上しており、財務的に問題はない。今後も健全な財務内容の確保を続けてほしい。
事業面	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、顧客の獲得に向けた取組を継続してほしい。